

# 地方創生推進交付金 効果検証結果について

令和4年2月実施

## 地方創生推進交付金活用に係る効果検証対象事業

NO.	交付対象事業の名称	活用交付金
1	スポーツ及び森林の魅力を核とした観光コンテンツ集約化による「吉野DMC」形成推進事業 ～世界の人々が訪れる癒しの地”吉野”実現への取組～	地方創生推進交付金
2	文化財の国際的展開を通じた奈良の国際ブランド力最大化プロジェクト	地方創生推進交付金
3	よしのびと7,399人 愛・支えあい事業	地方創生推進交付金

地方創生推進交付金事業 効果検証シート（最終年度総括用）

事業執行年度							
事業名							
目的	<div style="background-color: yellow; padding: 10px; border: 1px solid black;">                     本事業の目的・概要等を記載しています。                 </div>						
事業概要	年度	当初計画額		実績額			

本事業における重要業績評価指標（KPI）と実績

重要業績評価指標（KPI）	年度	年度	目標 年月
	目標値	目標値	
	実績値	実績値	
①	<div style="background-color: yellow; padding: 10px; border: 1px solid black;">                     本事業に対し設定していた評価指標と                 </div>		
①	<div style="background-color: yellow; padding: 10px; border: 1px solid black;">                     実績値を記載しています。                 </div>		

総合戦略で関連する施策・KPI

基本目標								
施策	<div style="background-color: yellow; padding: 10px; border: 1px solid black;">                     平成27年度に策定した総合戦略の中で                 </div>							
KPI	<div style="background-color: yellow; padding: 10px; border: 1px solid black;">                     本事業に関連する評価指標を記載しています。                 </div>							
備考								

## 本事業の評価

本事業の効果	本事業の効果の理由
<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<b>本事業の効果について記載しています。</b>
<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果的であった	
<input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	
<input type="checkbox"/> 地方創生に効果がなかった	

外部有識者による評価	
事業の評価	外部有識者からの意見
<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に非常に有効であった	<b>外部評価委員の評価結果を記載しています。</b>
<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効であった	
<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	
<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に全く有効とは言えない	

## 本事業の総括（総合評価・今後の展望等）

<b>本事業の今後の展望等について記載しています。</b>
-------------------------------

地方創生推進交付金事業 効果検証シート（最終年度総括用）

事業執行年度		平成30年度～令和2年度（3箇年）			
事業名	スポーツ及び森林の魅力を核とした観光コンテンツ集約化による「吉野DMC」形成推進事業 ～世界の人々が訪れる癒しの地“吉野”実現への取組～				
目的	<p>当地域には、我が国独自の信仰である修験道、世界遺産の主要構成要素である大峯奥駈道や津風呂湖等を活用したスポーツ・アクティビティ、日本遺産認定に代表される当地域の人々の暮らしを支えてきた木材関連産業、大海人皇子が伝えたといわれる手漉き和紙産業、独自の食文化（柿の葉寿司や吉野葛等）などインバウンドを中心に集客の見込めるコンテンツが数多くありながら、情報が集約されていないことにより、来訪者がそれらを体感できていない。これらの集客コンテンツになり得る素材の磨き上げと集約化、また一括した体験メニューの予約システムの導入、二次交通手段の充実等により、来訪者の周遊性を高め、日帰り観光地からの脱却を図る。</p> <p>初年度は、DMC法人の組織化に向けたアドバイザー、集客コンテンツの磨き上げと商品化に関するアドバイザーを招聘するとともに、専門人材の設置と市場調査を行うほか、観光関係者をはじめ、文化、スポーツ、農林漁業、商工業等の関連事業者や地域住民等の多様な関係者によりDMC設立準備会を立ち上げ、協議を進める。2年目には、集客コンテンツの磨き上げと集約化、機能的旅行商品予約システムの導入、継続した専門人材の設置と観光人材の育成を行うことにより、（一社）吉野ビクターズビューローを集客サービス統括会社「吉野地域DMC法人」として機能を強化し、5年後の完全自立化を図る。</p> <p>観桜期以外の通年型観光拠点として、総合スポーツ施設のある津風呂湖周辺の整備を進める。関西ワールドマスターズゲームズカヌースプリント競技の誘致という国内外に当地区をPRする絶好の機会を有しており、東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン（事後交流）の取組と合わせて情報発信を進め、インバウンドを中心として集客できるキラーコンテンツとして磨きかける。</p> <p>当地域にある集客コンテンツになり得る資源を整理し、宮滝遺跡周辺で整備を進める農泊や、吉野杉魅力発信拠点として整備した「吉野杉の家」等における宿泊体験やその他信仰、山、自然、スポーツ、産業、食、歴史文化、祭りの体験コンテンツづくりと集約化を進め、集客増加と滞在時間の延伸を図る。</p>				
事業概要 (結果)	平成30年度	当初計画額	98,900千円	実績額	77,252千円
		<ul style="list-style-type: none"> <li>集客サービス検討業務及び人材派遣委託 22,000千円</li> <li>DMC組織化アドバイザー設置委託 1,200千円</li> <li>集客コンテンツ磨き上げと集約化に係るアドバイザー委託 1,200千円</li> <li>周遊性を高める移動手段の検討委託 1,490千円</li> <li>映画ロケ地を活用した集客コンテンツの見える化、トップセールス 5,480千円</li> <li>総合スポーツ施設周辺整備 45,881千円</li> </ul>			
	令和元年度	当初計画額	139,850千円	実績額	149,666千円
		<ul style="list-style-type: none"> <li>吉野ビクターズビューローの機能強化（集客サービス検討業務及び人材派遣委託） 21,383千円</li> <li>DMC組織化アドバイザー設置委託料 2,100千円</li> <li>集客コンテンツの磨き上げと集約化に係るアドバイザー設置委託料 2,400千円</li> <li>現状把握と分析のためのマーケティング費用 5,811千円</li> <li>集客コンテンツの企画・構築委託、受入にかかる人材育成等 5,407千円</li> <li>集客コンテンツの見える化（観光ポータルサイトの構築）の制作費 22,068千円</li> <li>広告宣伝及び認知集客 3,036千円</li> <li>吉野山地区まちづくり基本計画策定業務委託料 9,713千円</li> <li>総合スポーツ拠点施設周辺整備 77,747千円</li> </ul>			
	令和2年度	当初計画額	100,040千円	実績額	72,109千円
		<ul style="list-style-type: none"> <li>吉野地域DMC法人人件費（29,315千円）</li> <li>DMC組織化アドバイザー設置委託料（2,800千円）</li> <li>集客コンテンツの磨き上げと集約化に係るアドバイザー設置委託料（2,480千円）</li> <li>現状把握と分析、及び観光客の来訪促進と囲い込みの仕組み構築に係る費用（10,820千円）</li> <li>集客コンテンツの磨き上げと構築、受け入れに係る人材育成等（4,103千円）</li> <li>集客コンテンツの見える化（観光ポータルサイトの構築）の制作費（18,931千円）</li> <li>広告宣伝及び認知集客（3,660千円）</li> <li>総合スポーツ施設周辺整備による大会誘致・開催費（0円）</li> </ul>			

本事業における重要業績評価指標（KPI）と実績

重要業績評価指標（KPI）		平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標 年月
		目標値	目標値	目標値	
		実績値	実績値	実績値	
①	吉野ビクターズビューロー独自事業売上額 （土産物販売、旅行商品）（千円）	10,741	15,741	45,741	2021.3
		13,718	10,215	14,891	
①	観光ポータルサイト月間アクセス件数 （千PV）	32	85	450	2021.3
		32	71	75	
①	月間宿泊問い合わせ数（観光ポータル サイト経由）（件）	0	500	5,000	2021.3
		0	383	282	
①	SNSの登録者数 （YOUTUBE、Instagram、Facebook 等）（千人）	1.6	100	300	2021.3
		1.6	11	5	

総合戦略で関連する施策・KPI

基本目標	地域経済を活性化し、安定した雇用を創出する							
施策	基幹産業の強化による地域経済の活性化							
KPI	観光客入込客数 （千人）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		1,145	1,040	1,097	1,149	1,065	1,120	358
備考	令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響で客数が大幅に落ち込んだ							

本事業の評価

本事業の効果	本事業の効果の理由
<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	本事業は、地方創生推進交付金を活用して観光地域づくり（DMO）を推進するための基盤づくりを目的としている。 令和2年度には、CRMシステム「吉野ポイントカード」を導入したことにより、吉野への来訪者の属性、消費行動等を捕捉し、データマーケティングを行う基盤が整った。また、インバウンド需要の獲得を目指し、多言語観光WEBサイト「よしのーと」の整備や地域の特産品等の販売窓口となるECサイトの導入といった整備を進めてきたことで、DMO登録の基盤をつくることができた。
<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果的であった	
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	
<input type="checkbox"/> 地方創生に効果がなかった	

外部有識者による評価	
事業の評価	外部有識者からの意見
<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に非常に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染症との関係でインバウンドが激減し、目標は達成できなかったが、コロナ後の展開に繋がる海外でPR活動、マーケティング調査が行えたため、事業全体としては一定評価できる。ただ、外国人宿泊者数はH28がピークでそれ以降は減少しているため、その理由を検討し、今後の事業展開に活かすべきだと思われる。</li> <li>・多くの事業が観光地域づくりを推進するための基盤づくりであるため、すぐに効果が発揮されるものではなく、また、新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けたことも理解はするが、重要業績評価指標、K P I の目標を大きく下回っており、特にポータルサイト等のアクセス件数など、即効性のある指標においても目標に大きく及ばなかったことから、有効性が小さいと判断。今後の展開を期待する。</li> <li>・コロナ禍の中であり、大変厳しい中であったと思われる。今後のビューローの位置づけを見守りたい。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響により目標に掲げていた実績値と大幅な乖離が生じているのは仕方がないことだと思う。ただ、DMO登録の基盤の構築が出来たことは、本件事業を有効なものとして判断することが出来るものと考え、次年度以降に十分に繋げていくことのできる取組を行っていたものと判断する。</li> </ul>
<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効であった	
<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	
<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に全く有効とは言えない	

#### 本事業の総括（総合評価・今後の展望等）

本事業により、情報発信、プロモーション及びデータマーケティングができる環境ができ、データに基づく施策の計画、実施、評価のPDCAを地域の多様な関係者とともに回していく基盤が整ったことで、観光庁観光地域づくり法人（DMO）の登録要件を満たすことができた。令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数、観光消費額ともに大きく落ち込んだが、次年度以降、観光地域づくり法人として登録を受け、データマーケティングに基づきタイムリーな来訪喚起策といった打ち手を検証し、観光業の早期回復を目指す。

地方創生推進交付金事業 効果検証シート（最終年度総括用）

事業執行年度		平成30年度～令和2年度（3箇年）				
事業名	文化財の国際的展開を通じた奈良の国際ブランド力最大化プロジェクト（広域）					
目的	<p>我が国の歴史の中で、奈良に都が置かれた時代には、様々な芸術や文化が世界から伝わり、世界各国との交流を通じて固有の特色ある文化として形成された。奈良は日本の始まりの地であるとともに他に比類のない歴史文化資源を有している。</p> <p>これらを活用した地域活性化を図るためには、その魅力を磨き上げるとともに、特に、外国人に対しては、歴史的・文化的な背景や、他との違いや特徴を含めた、より本質的な説明が求められる。</p> <p>「ジャポニズム2018」は、フランスで開催される大規模な日本文化紹介行事であることから、公式企画の一つに位置づけられている奈良のトップクラスの仏像の展示に加え、この千載一遇の機会に、奈良の伝統行事・芸能・特産品の紹介や映像を活用したプロモーションを総合的に実施する。また、続く2019年には、世界各国から観光客が訪れる英国大英博物館において、奈良の国宝・重要文化財級の仏像を大規模に展示するとともに引き続き奈良の歴史文化や県産品のプロモーションを行う。さらに、東京オリンピック・パラリンピックの年である2020年には、これまでの成果を踏まえ、ターゲットを絞ったプロモーションや歴史文化資源の情報発信を行う。実施にあたっては、歴史文化資源に本質的な説明を加えて発信することにより、欧州のみならず全世界に向けて、わが国で初めて確立された独自の文化を今に引き継ぐ奈良の持つブランド力・魅力を力強く印象づけていく。</p> <p>当事業の継続実施を通して、歴史・文化への造詣が深い層や富裕層等を中心に一層の奈良への関心を喚起し、外国人観光客の本県への誘客を着実に増加させるとともに周遊・滞在型観光の促進を図るとともに、仏像展示の実施地である英仏を中心に取組を強化する。</p>					
事業概要 (結果)	平成30年度	当初計画額	5,000千円	実績額	6,067千円	
		・ジャポニズム公式企画への出展等 6,067千円				
	令和元年度	当初計画額	6,500千円	実績額	4,172千円	
		・県・関係市町村と協力した歴史文化資源を活用したプロモーション等 1,915千円 ・トップセールスの実施 2,257千円				
	令和2年度	当初計画額	4,000千円	実績額	2,585千円	
		・県・関係市町村と協力した歴史文化資源を活用したプロモーション等 2,585千円				

本事業における重要業績評価指標（KPI）と実績

重要業績評価指標（KPI）		平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標 年月
		目標値	目標値	目標値	
		実績値	実績値	実績値	
① 吉野町の外国人宿泊客数（人）		1,900	2,300	2,700	2021.3
		1,727	2,490	46	

総合戦略で関連する施策・KPI

基本目標	地域経済を活性化し、安定した雇用を創出する							
施策	基幹産業の強化による地域経済の活性化							
KPI	外国人宿泊者数(人)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		1,000	2,953	3,270	2,697	1,727	2,490	46
備考	令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響で客数が大幅に落ち込んだ							



## 本事業の評価

本事業の効果	本事業の効果の理由
<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<ul style="list-style-type: none"> <li>●トップセールスの実施 フランス現地のイベントに参加の上、PR活動を行い、吉野町理解促進と認知度向上を図った。また、マーケティング調査を実施し、今後の旅行商品造成やプロモーションの基礎資料となるデータ収集を行った。R2年度は基礎データを基に具体的な旅行商品を造成の上、商談会への参加、プロモーションを実施する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により事業の方向性を見直し。コロナを越えた先にある旅行需要の喚起を目的として、調査の結果分かったフランス人に関心の高い歴史・自然観賞・ウォーキング・食の要素を取り入れたプロモーション動画を奈良市と共同で作成の上、情報発信を実施している。</li> <li>●県・関係市町村と協力した歴史文化資源を活用したプロモーション等 フランス人インフルエンサー及び現地エージェントを招請の上、フランスメディアでの情報発信、旅行商品造成を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、事業直前に中止としたため、事業としての具体的な成果は得られていない状況。</li> </ul>
<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果的であった	
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	
<input type="checkbox"/> 地方創生に効果がなかった	

外部有識者による評価	
事業の評価	外部有識者からの意見
<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に非常に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染症との関係でインバウンドが激減し、目標は達成できなかったが、コロナ後の展開に繋がる海外でPR活動、マーケティング調査が行えたため、事業全体としては一定評価できる。ただ、外国人宿泊者数はH28がピークでそれ以降は減少しているため、その理由を検討し、今後の事業展開に活かすべきだと思われる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大による外国人の入国制限により、令和2年度のKPI目標値には大きく届かなかったが、令和元年度の実績は目標値を超えていることから、一定有効性はあるものと判断できる。今後、入国制限が解除になった際には、インバウンドの回復による効果も期待できることから、先を見越した今できる事業展開を期待する。</li> <li>・コロナ後に期待したい。</li> <li>・コロナ禍の中であり、インバウンド事業が思うように出来ないなか、これらに向けて準備しておく必要がある。</li> <li>・平成30年度からの3年を事業年度とする本事業により、当初2年間は外国人宿泊客数の増加等一定の効果があったが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響を大きく受け、吉野町に宿泊する外国人が大幅に減少したことはやむを得ない。</li> </ul>
<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効であった	
<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	
<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に全く有効とは言えない	

## 本事業の総括（総合評価・今後の展望等）

本事業により、県・関係市町村と協力した歴史文化資源を活用した総合的なプロモーションとして、海外の大規模行事において奈良の伝統行事・芸能・特産品の紹介や、奈良市との共同にて海外向けプロモーション動画の作成を行うことができた。今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、万博等の開催を見据えたインバウンド旅行需要の喚起を図るため、他市町村とも連携した事業を今後も継続的に進めていく必要がある。

地方創生推進交付金事業 効果検証シート（最終年度総括用）

事業執行年度		令和元年度～令和2年度（2箇年）				
事業名	よしのびと7,399人 愛・支えあい事業					
目的	<p>当事業は、吉野町における課題であるコミュニティの弱体化、女性・高齢者の活躍機会の不足を解決するため、シェアリングエコノミーのしくみを活用し、女性や高齢者の潜在的なスキルを市場に展開し、スキルシェアサービスを行う事業者と地域の事業者・団体と連携し、地域住民のニーズにあった多様な活動ができる環境づくりを行う。</p> <p>【スキルシェア事業】</p> <p>○時間、場所、内容等多様な仕事と住民ニーズとのマッチングを進めるため、スキルシェアサービスを展開するプラットフォームと地域内の事業者、団体等との連携体制を構築する。</p> <p>○シェアリングエコノミーの普及・啓発活動、利用の仕方に関する個別説明会の開催、サービス提供者（特に高齢者、女性）と利用者（地域の事業者や団体）の発掘と研修等を行う。</p>					
事業概要	令和元年度	当初計画額	3,718千円	実績額	3,464千円	
		・シェアリングエコノミーの周知・啓発 186千円 ・シェアサービス利用に係る人材育成 0円 ・シェアリングエコノミー事業企画、助言、指導業務委託 3,278千円				
	令和2年度	当初計画額	2,810千円	実績額	2,059千円	
		・シェアリングエコノミーの周知・啓発 37千円 ・シェアサービス利用に係る人材育成 31千円 ・シェアリングエコノミーイベント企画、情報発信支援業務委託 1,991千円				

本事業における重要業績評価指標（KPI）と実績

重要業績評価指標（KPI）	令和元年度	令和2年度	目標年月		
				目標値	目標値
				実績値	実績値
① WEBプラットフォーム利用登録者数（人）	50	150	2021.3		
	50	113			
① WEBプラットフォーム利用登録事業者・団体数（件）	5	15	2021.3		
	6	17			

総合戦略で関連する施策・KPI

基本目標	基本目標Ⅱ 地域のなかで安心して暮らし続けることができるまちづくり							
施策	②いきいきと暮らすことができる健康長寿社会の形成 ③地域における女性の活動推進							
KPI	女性の起業・創業者数	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		-	1	6	9	13	2	5
備考	当初は実践型雇用創造協議会事業により再就職者数を把握していたが、平成30年度をもって当該事業が廃止となり協議会解散されたため、令和元年度以降は奈良県よろず支援拠点（中小企業庁）経由の起業支援補助金活用者のみを算定している。							

## 本事業の評価

本事業の効果	本事業の効果の理由
<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<p>平成30年度は総務省モデル事業としてシェアリングエコノミー活用に係る事業を開始。令和元年度、令和2年度では地方創生推進交付金を活用し、シェアリングエコノミー周知のためのイベントの実施などを行った。本事業の評価指標である、WEBプラットフォーム登録団体数は、目標を達成することができた。</p> <p>また総合戦略のKPIとして女性の起業者数は目標値を達成することができた。</p> <p>女性起業者の中には、シェアリングエコノミー協会理事でもあり、多拠点居住サービスを行っている株式会社アドレスの代表との連携により、シェアリングスペースをオープンさせ、地域活性化の一助になっている。他の起業者においても、空家などを活用したものであったり、子育て中の女性が社会福祉協議会との連携により「おんぶカフェ」や「子ども食堂」を始動しており、シェアリングエコノミーの考え方を取り入れた吉野町における新しい共助の形が醸成されている。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果的であった	
<input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	
<input type="checkbox"/> 地方創生に効果がなかった	

外部有識者による評価	
事業の評価	外部有識者からの意見
<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に非常に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症が蔓延したにもかかわらずR2年度の目標が達成できており評価できる。この事業が「おんぶカフェ」「子ども食堂」などに発展しているようであり、地域の安定、活性化に寄与していると思われる。</li> <li>・シェアリングエコノミーという新しいしくみは、中山間地域の地域活性化に、新しい可能性を与えるものであり、先駆的に取り組むことにより、注目を集めることで、地域内の更なる周知にも寄与し、参画者の意欲の向上にもつながる。プラットフォームの登録者数や事業者数等も目標に向け順調に伸びており、人口が減少する中コンスタントに女性の起業者も出ていることから事業の効果が見られる。今後、更なる新たな展開も期待したい。</li> <li>・もっとPRが必要。</li> <li>・シェアリングエコノミーでは、女性の起業家が増えたことは喜ばしい。町内にもっと周知できるように取り組んで頂きたい。</li> <li>・長引くコロナ禍の中にあって当該事業に関しては、目標値を上回っている実績での着地となっている分野もあるなど、吉野町の今後の展開を考えた際に良い流れを生み出したしているものと考ええる。</li> <li>・地方が目指すべき方向や取り組んでいくべきことが、本事業を通じて見えてきたように感じるので、本事業は有効なものであったと判断する。</li> </ul>
<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効であった	
<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	
<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に全く有効とは言えない	

## 本事業の総括（総合評価・今後の展望等）

デジタル田園都市国家構想を内閣官房が掲げており、地方でのデジタル化が加速すると見込まれる。地方において、シェアリングエコノミーのようなデジタル化によるWEB上でのサービスの基盤を作ることで、時代に即した住民サービスの提供が可能になる。まちひとしごと総合戦略に掲げる目標を達成するためにも、事業を継続させながら、ニーズにマッチした事業展開を模索していく必要がある。